

昭和大学江東豊洲病院だより

2023年10月号 第114号

巻頭言

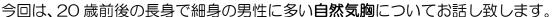
呼吸器外科 診療科長

やまもと

しげる **滋**

女性とこどもにやさしい総合病院開設の要望を受け、昭和大学江東豊洲病院は2014年3月24日に開院し、あと半年で10周年を迎えます。この間、老若男女を問わず住みたい町と言われるほど、おしゃれで活気あふれる街並みになりました。

呼吸器外科担当の疾患は、原発性肺がん・転移性肺腫瘍・自然気胸・胸膜炎・膿胸・そして胸腺腫をはじめとした縦隔腫瘍です。開院当時、小児科に通っていらした方々が、最近では自然気胸で来院されることもみられ始めています。



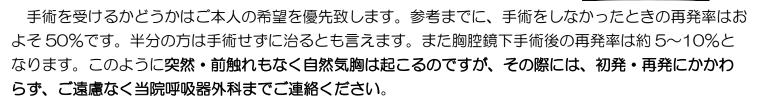


自然気胸は肺に突然・前触れもなく小さな穴が空き、胸の中で肺が小さくなる(虚脱する)ことで胸や背中の痛み(胸背部痛)や、運動したときの息苦しさ(労作時呼吸苦)が生じます。気胸になられた患者さんは直接当院、あるいは近隣の病院を受診され、紹介受診されます。肺の虚脱が軽度の場合は外来で経過観察、中等度あるいは高度の虚脱場合は腋の下7~8cm程、胸の壁(側胸壁)のなるべく目立たないところに、痛み止め(局所麻酔)を十分に効かせて3mm程皮膚を切開して直径2mm程の細い管をいれ(胸腔ドレナージ)、肺を広げる治療を行います。ドレナージ後は入院が必要となります。数日して空気の漏れが止まったら、管をぬきます。この管が入っていた穴は小さく、皮膚を縫う必要はありません。

自然気胸に対する手術が必要な場合(手術適応)は、

- 何度も自然気胸を繰り返すとき
- 空気の漏れが7~10日以上続いているとき
- ・(多く) 出血しているとき
- 同時に両側で気胸となっているとき

で、全例を胸腔鏡下で行います。術後多くは 1~3 日ほどで退院となります。



呼吸器外科開設して 2021 年 4 月から 2 年 3 か月経過した本年 7 月に手術件数は 100 例を超えました。ここに病院業務を支えて頂いているスタッフの皆様に、安全安心に診療ができたことを深謝いたします。 患者さんが健康を取り戻し、日々を楽しく過ごせるようスタッフー同、診療に専念し邁進することで開院 10 周年を迎え、さらなる 10 年に繋いでいきたいと思います。

コロナ禍もまだ、油断は出来ないこの頃ではございますが、皆様のご健康を心から祈念いたします。



第114号のトピックス

- 巻頭言(呼吸器外科)
- 褥瘡管理室紹介
- ・第 16 回公開講座動画公開のお知らせ
- 紹介受診重点医療機関
- 新生児蘇生法講習会 母体救命講習会を開催しました
- 江東豊洲病院開院 10 周年に向けて Part4
- 編集後記



Pick up

褥瘡管理室紹介

私たち「褥瘡管理室」は皮膚科医師、看護師、薬剤師、栄養士からなるチームで毎週水曜日に病棟にて回診を行なっております。

早速ですが、「褥瘡」というものをご存知でしょうか。俗に言う「床ずれ」です。なぜできてしまうのかというと、長時間同じ体勢でいることで皮膚が圧迫され、毛細血管に血が通わず皮膚が壊死してしまうことでできてしまいます。数十分同じ体勢でいることでできてしまうこともあります。



さて、主な褥瘡管理室の活動内容ですが、褥瘡回診(ポジショニングの指導などの予防法、診察、外用薬・創傷被覆材の選択などの治療)、栄養指導、ベットマットや車椅子のクッションなどの提案などを主体に病棟看護師と共に褥瘡の予防、早期発見、治療に当たっております。医師による診察・治療方針の決定、看護師による適切な処置方法、薬剤師による外用剤の選択、栄養士による栄養指導によって褥瘡の早期発見、治癒を目指して活動しております。

長らくこの活動をしていることによって、病棟看護師の意識も高く、入院中の褥瘡についてはかなり早期での発見ができるような看護体制も整っていると実感しております。見逃されがちな小さな傷や紫斑などの兆候もしっかり報告に挙がり、褥瘡か判断つきにくい場合も回診時以外に連絡いただき迅速な対応をできるよう心がけております。

当院の褥瘡についてですが、

- 年々 [Ⅱ度での発生件数が増えている。
 - → 早期発見できている。
- 推定発生率は全国平均よりも高いが、質を把握する新規発生率は全国平均と同程度。
 - → 見逃されがちである軽症である I 度の褥瘡も全て報告されているため発症率が高く出ているが、その分治癒率も高い。
- 治癒率が60%程度なのは、 [または | 度で発見した数日後に退院や転院しているので低く 出ている。
 - → 早期発見しているため褥瘡感染などの二次的な要因での退院延期が少ない。
- 報告から14日以内に治るものが多い。
 - → 早期発見、早期治療ができている。

といったことが挙げられます。

今後もより良い医療を提供するために患者さんの状態をしっかりと把握し、まずは褥瘡が発生しないよう予防から努めていき、発生してしまった場合にも迅速に対応するよう活動させていただきます。



新生児蘇生法講習会・母体救命講習会を開催しました

副院長・周産期センター長 / 大槻 克文

9月17日(日)、2023年度第1回新生児蘇生法講習会Aコース(NCPRAコース)と2023年度第1回母体救命講習会(J-CIMELSベーシックコース)を主催しました。当院のみならず地域の病院や分娩取り扱いクリニックでの周産期診療において、新生児予後の改善と母胎急変時への迅速な対応を目指し、定期的に開催しています。NCPRAコースについては当院開院以来1年に2回開催してきました。J-CIMELSベーシックコースについても5年前から定期的に開催しています。

今回、インストラクターは私と副センター長の中野准教授(小児内科)も含め学内外から産婦人科医師、小児科医師、救急救命科医師、麻酔科医師、助産師と多くの方に協力いただきました。

NCPR A コースは 16 名、J-CIMELS ベーシックコースでは 18 名の方が受講しました。内訳は産婦人科医師、産科病棟助産師、NICU 勤務看護師、昭和大学保健医療学部助産学専攻科の方々です。助産学専攻科の方々はカリキュラムの一環に準じて受講されており、勤務開始後の実践力が期待されます。



講習会の様子

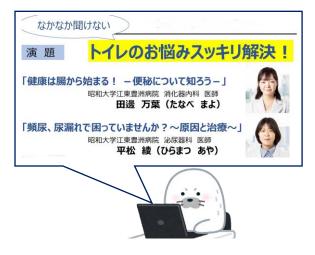
${f P}$ ick up

第16回公開講座動画公開のお知らせ

2023 年 6 月 3 日 (土) に当院で開催した、「第 16 回 (令和 5 年度第 1 回) 昭和大学江東豊 洲病院公開講座『なかなか聞けない トイレのお悩みスッキリ解決!』」の講座内容を、昭和大学江東豊洲病院のホームページにて 9 月 1 日 (金)~10 月 27 日 (金) の期間限定で公開しています。ぜひご覧ください。

こちらの QR コードから ご覧いただけます→→→→





紹介受診重点医療機関

当院は「紹介受診重点医療機関」です。「紹介受診重点医療機関」とは、外来受診の際に、かかりつけ医等からの紹介状が必要となる医療機関で、より専門的な検査や治療を行います。

かかりつけ医等と紹介受診重点医療機関の役割 分担が明確になることで、医療機関の混雑緩和や スムーズな受診につながることが期待されます。





江東豊洲病院開院 10 周年に向けて Part4



昭和大学江東豊洲病院は2014年3月24日に開院し、今年10年目を迎えました。 病院だよりでは数回にわたって病院の沿革を皆さんにご紹介します。

2020年4月1日

許可病床400床での稼働を開始

2018年10月には豊洲市場が開場し、近隣のタワーマンション建設など急激な開発に伴い、患者さんの急増に対応するべく、91床増床し、開院当初からの目標としていた400床になりました。



20 床増床し40 床になったこどもセンター病棟

医師・歯科医師 201 名、看護師・助産師 436 名、 その他職員 155 名の計 792 名で、開院当初の 倍になりました。

2020 年出来事 (一部)

新型コロナウイルス感染拡大

緊急事態宣言発令

東京オリンピック・パラリンピック開催延期

藤井聡太七段最年少タイトル 獲得

劇場版「鬼滅の刃」無限列車編 公開

<************************

新語・流行語年間大賞は「3 密」



編

まだまだ暑い日が続いておりますが、季節は秋に向かっております。

秋といえば十五夜ですね。十五夜の意味は主に3つあるといわれており、1つ目は収穫への感謝と豊作への祈り、2つ目は月への感謝、3つ目は最も美しい秋の月を眺めるという目的があるそうです。

古来、日本では十五夜に関わらず月をめでる風習があったそうです。平安時代になると、十五夜に月を見ながら宴をするという風習が中国から伝わり、日本の貴族の間で広まったといわれています。庶民が十五夜を楽しむようになったのは江戸時代のころ、月を鑑賞するだけでなく、月に農作物の収穫を感謝したり、豊作を願ったりする意味も加えられたとされています。

今年は9月29日が十五夜となっております。きれいなお月様を眺め、お月見団子を頬張りながら1年の健康を祈るなど、一味違った楽しみ方をしてみてはいかがでしょうか。

薬剤部 伊藤 綾花



昭和大学江東豊洲病院 http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

TEL03-6204-6000(代表)

発行責任者:横山 登 編集責任者:大槻 克文

